

第1章

8. ジェンダー平等の達成

施策1

ジェンダー平等の啓発



これまでの取組

家庭や地域・学校・企業などあらゆる社会活動の場で男女共同参画社会についての理解が進むよう、啓発用DVDの貸出や講座を開催し、啓発に努めてきました。

めざす姿

家庭・地域・学校・企業などあらゆる場でジェンダー平等の意識が浸透し、男女が同等に家事・育児・介護を担い、仕事と両立できています。

実施方針

- 家庭・地域・学校・企業などあらゆる社会活動の場でのジェンダー平等の啓発活動の推進
- だれもが働きやすい職場環境に向けた企業への啓発活動の推進

施策2

だれもが参画できる環境整備と社会参加の促進



これまでの取組

女性が社会に参加しやすい環境整備とともに、審議会や区・自治会における女性の参画を推進してきました。活躍事例の情報共有を行い、啓発してきました。湖南省主催講座の開催の際に、予約制の託児サービスを実施してきました。

めざす姿

性別・性差に関係なくだれもが社会に参加しやすい環境整備が進み、政策決定、地域活動での意思決定に意向が反映されています。

実施方針

- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 地域・社会参加を促進するための環境整備
- 政策決定、地域活動での意思決定の場への女性登用の促進
- 女性職員の管理職への登用の推進

施策3

相談および支援体制の充実



これまでの取組

人権相談ネットワーク協議会などの関係機関との連携により、相談内容の多様化に対応してきました。また、女性の悩み相談（月2回）・人権なんでも相談（月2回）を実施するとともに、就労相談の開催や女性活躍の事例集などによる啓発により、女性の社会参加を促進してきました。

めざす姿

ジェンダーを取り巻く社会的問題や心身の健康に関する問題を受け止め、解決や自立へ導く相談体制が充実しています。

実施方針

- 関係機関との連携による相談体制の強化
- 相談員の育成
- 相談窓口の周知

施策4

性的マイノリティへの理解促進



これまでの取組

関係団体と連携し、啓発パンフレットの作成・配布、広報こなんやホームページで啓発を行い、多様な性に関する理解を深めてきました。

めざす姿

性別・性的指向・性自認・性表現に関わらず、自分らしく生きることが尊重される社会が実現しています。

実施方針

- 啓発活動の推進

第2章 自然を生かし、自然と共生するまちづくり

～湖南省みらいものがたり Episode 2～

「ねえパパ、今日もあの公園に行こうよ!」

7歳の優月（ゆづき）が、目をキラキラ輝かせながら言った。

小さな家族が何度も通ったあの公園。そこで作った泥だんごは、まるで宝石のようにピカピカに光っていた。ぽかぽかの陽だまりの丘を、笑顔で駆け回ったあの時間は、優月にとってかけがえのない思い出だ。

湖南省では、地域の特色を生かしたふれあい公園や都市公園の再編・再整備によって、使いやすく魅力あふれる場所がある。優月の住む地区には、小さくても美しい花壇ができ、四季折々の花が彩り、住民同士の自然なふれあいの場になっている。

優月は帰り道、散歩中の子犬に触れたり、友だちと遊んだりして過ごしていた。

うるおいのあるまちをつくろう

—10年後

高校2年生になった優月は、となりまちの友だちと「にじいろ公園」にやってきて、釣りを楽しんでいた。「にじいろ公園」は自然豊かで、だれでも使いやすいユニバーサルデザインの遊具が並び、親子連れからお年寄りまで、幅広い世代が集うふれあいの場になっている。公園でみる親子が小さい頃の自分の姿と重なり、思わず笑みがこぼれた。

「湖南省にはおもしろい公園がいっぱいっていいなあ」

友だちが釣り竿をゆらしながら言った。

「他にもいろんな公園があるよ」

優月はスマート端末を開いて友だちにみせた。

「この公園、すごいな。砂でこんなに大きな城をつくってるぞ!」

友だちがみつけた公園の写真に、優月は小さい頃のわくわくした気持ちがふわりとよみがえってくるのを感じた。

※この物語は、第三次湖南省総合計画ワークショップの“みんなで作る将来のまちの姿”をモチーフに描いた物語です。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

第2章

1. こなんSDGs 未来都市の推進

施策1

地域自然資源を活用したエネルギーと経済の循環による地域活性化の推進



これまでの取組

こなんウルトラパワー株式会社のノウハウを活用し、公共施設、民間施設への太陽光発電設備の設置を図り、地域の自然エネルギー活用を推進してきました。

めざす姿

こなんウルトラパワー株式会社を核として、地域の自然エネルギーの活用が広がり、エネルギーと経済の地域内循環が確立されています。

実施方針

- 地域の自然エネルギーを活用した取組の推進
- 自家消費型屋根借り太陽光発電への参画
- 家庭での自然エネルギー活用に関する取組の推進
- エネルギーの地産地消の推進

施策2

地域資源との関わりを見つめ直し、だれもが参画できるまちづくりの推進



これまでの取組

市内福祉作業所と連携し、太陽光エネルギーを活用したサツマイモ栽培や加工品の販売、新たな農作物の検討に取り組み、木質バイオマス燃料の安定供給の取組を開始してきました。

めざす姿

市民・福祉事業者・大学などとの連携による木質バイオマスの取組など、だれもが参画できる取組によるさりげない支えあいのまちづくりが広がっています。

実施方針

- 市民・事業者の交流促進による利益の地域循環の推進
- 農福連携の取組推進によるイモ製品の開発など6次産業化の推進
- ソーラーシェアリング活用の促進
- 林福連携推進による木質バイオマス燃料の供給の推進
- SDGsに関する地域資源教育の推進

2. 脱炭素の地域づくり

施策1 地球温暖化対策の推進



これまでの取組

SDGs 出前講座などを通して、公共交通機関の利用や徒歩・自転車での移動が温室効果ガス排出抑制や健康維持に繋がることが啓発してきました。自然エネルギーの利用促進を図ってきました。

めざす姿

省エネルギー型のライフスタイル、ワークスタイルが定着し、環境への負荷のない自然エネルギーへの転換が進んでいます。

実施方針

- 自然エネルギーの活用や省エネルギーの普及促進
- 屋上緑化や緑のカーテンの普及率の向上
- 事業所への高効率型機器の導入促進
- 温室効果ガス排出抑制のための公共交通機関などの利用促進

施策2 強靱性と脱炭素を両立した持続可能なまちづくりの推進



これまでの取組

こなんウルトラパワー株式会社が設備保有するスキームにより、公共施設への太陽光発電設備と蓄電池の設置導入による非常時の電源の確保に取り組んできました。

めざす姿

小売電力事業を軸に省エネルギーサービス事業も展開され、自然エネルギーを活用した地域分散型電源が普及し、災害時に備えたエネルギー供給の強靱性が確保されています。

実施方針

- 地域主導による自立分散型エネルギーの導入促進
- エネルギーを主眼に置いた効率的な公共施設の維持管理の推進
- 災害時のエネルギー供給の保持
- 地元企業とのカーボンニュートラルの連携・支援強化

第2章

3. 魅力的で個性的な拠点となる公園の充実

施策1

拠点の公園の充実



これまでの取組

都市公園の一角を利用した地域による花植えなどの活動や恵まれた自然を生かし、市民が身近に自然にふれることのできるレクリエーションの場づくりを推進してきました。

めざす姿

地域の拠点的な公園が、市民のレクリエーションや憩いの場などとして充実し、多くの市民に有効活用され、賑わっています。

実施方針

- 市民交流やふれあいの場づくりの充実
- 公園サポーター制度による市民参画の推進

4. 身近な公園の再編

施策1

身近な公園の再編



これまでの取組

こどもからお年寄りまで多くの市民が快適に憩える身近な公園として、遊具施設などの安全点検や施設修繕を行うとともに、老朽化した公園については市民が利用しやすい形態に再整備の検討を進めてきました。

めざす姿

地域が主体となり維持管理が持続できる公園がバランスよく配置され、だれもが安心して利用でき、自由にくつろぐことのできる場が身近にあります。

実施方針

- 地域などとの連携による魅力ある公園整備
- 市街地や住宅地における公園機能の再編および集約化

施策2

公園の利用・維持管理の効率化



これまでの取組

公園遊具施設点検を実施し、危険度の高い遊具について、撤去または修繕を行ってきました。

除草などの日常管理は地元の区・自治会で行い、身近な公園の管理が行われてきました。

めざす姿

地元住民の協力のもと公園の日常管理と施設の点検が行われ、計画的に修繕が進められています。

実施方針

- 遊具施設の安全管理など公園施設の計画的な維持管理
- 指定管理者制度の導入や地元への委託など整備管理体制の充実

第2章

5. 自然環境・生態系の保全

施策1

生物多様性の保全



これまでの取組

小学生を対象とした施設見学を受入れ環境学習を実施し、高校生によるフィールドワークを行ってきました。

めざす姿

自然や生き物の豊かな個性とつながりを大切にし、人間を含め多くの生物が調和しながら暮らす健全な生態系が維持されています。

実施方針

- 希少な野生生物の生育・生息環境に配慮した健全な生態系の維持
- 地域・学校などにおける環境教育・環境学習の推進

施策2

自然資源の保全



これまでの取組

国の天然記念物「平松のウツクシマツ自生地」などの特徴的な自然資源を地域と協働して保全してきました。

森林環境譲与税を活用し、森林・里山が持つ多面的機能の維持・増進を図ってきました。

めざす姿

国の天然記念物「平松のウツクシマツ自生地」を含め、森林・里山の保全への関心が高まり、事業者や市民が関わりながら健全な森林・里山環境が保全されています。

実施方針

- 国の天然記念物「平松のウツクシマツ自生地」の計画的な保全活動の継続
- 生活環境保全林などの適正管理
- 里山保全活動の推進
- 無秩序な伐採や開発の規制、環境に配慮した森林整備などの実施

施策3 水辺の環境の保全



これまでの取組

地域住民と行政の協働の観点から河川愛護活動を通じ、河川環境の美化を推進してきました。

河川の水質調査を実施、結果をホームページに掲載し、河川の環境保全に努めてきました。

めざす姿

湖南省の恵まれた自然環境の象徴である野洲川は、市民の積極的な関わりのもと、美しい河川環境が保全されています。その他の河川についても多世代が河川愛護の精神で清掃活動などを実施しています。

実施方針

- 琵琶湖と関連水系保全のためのネットワークづくりの推進
- 河川の水質などの情報提供や保全活動への支援
- 河川環境美化と保全活動への支援

施策4 つながりで守り育む体制づくり



これまでの取組

湖南省の良好な自然環境を生かしながら、住みよいうるおいのあるまちづくりを推進するため、環境団体と連携して、森や川の勉強会などのこどもが参加できる取組や清掃活動を実施し、ボランティアの育成に取り組んできました。

めざす姿

森林や川が美しく保たれているとともに、自然環境を学習やレクリエーションの場として活用するための環境が整い、市民が自然と親しむ機会が増えています。

実施方針

- 市民・事業者・環境関連団体などが連携した推進体制による取組の推進
- 市民協働による自然体験やレクリエーションの機会づくり、学習環境の整備
- 学習ボランティア・団体などの育成支援

第2章

6. 循環型社会の形成

施策1

省資源・リサイクルの推進



これまでの取組

食品ロス削減に向けた啓発、生ごみ減量化推進補助金やリサイクル推進活動奨励金の交付を通じて、ごみの減量化やリサイクル活動を推進してきました。

めざす姿

市民・事業者・行政が相互に役割を分担し、一体となった省資源・リサイクル活動が定着しています。

実施方針

- 市民・事業者・行政の協働による3Rの推進
- 資源の有効活用とリサイクル率向上

施策2

適正なごみ処理、不法投棄の防止



これまでの取組

甲賀広域行政組合衛生センターでは可燃ごみの処理、リサイクルプラザでは一般家庭の不燃ごみ・粗大ごみの破碎処理、缶類・ペットボトルの中間処理を行ってきました。不法投棄パトロールを実施するとともに、看板の設置などの啓発活動に取り組んできました。

めざす姿

甲賀広域行政組合衛生センターの適正な保全管理と設備の改修整備が行われ、安定的に稼働しています。

山林の不法投棄がなくなり、美しい自然景観が保全されています。

実施方針

- ごみ処理施設の計画的な維持管理
- 県と連携した指導のもと民間の産業廃棄物処理施設の維持管理および改善の促進
- 市民・事業者・行政の協働による山林などの巡回・監視や啓発活動による不法投棄の防止
- 市民・各種団体・企業などのごみの自主回収活動への支援

施策3

循環型の暮らしの定着



これまでの取組

リサイクルプラザでは、小学生を対象とした施設見学を受入れるなど、環境学習を実施してきました。また、高校生によるフィールドワークも実施してきました。環境団体と連携してボランティアの育成に取り組んできました。

めざす姿

環境について考え、実践する人財やボランティアグループが活躍し、広く市民に循環型の生活スタイルが定着しています。

実施方針

- 環境学習の充実
- 環境ボランティアの育成・支援

第2章

7. 上下水道の整備

施策1

上水道施設の整備と管理



これまでの取組

水道事業の包括委託契約を行い、24 時間体制の水源の監視システムにより安全な水の安定供給と財政の健全化に努めてきました。

老朽配水管の更新などを計画的に推進してきました。

めざす姿

市民に安全な水を安定供給する上水道体制が整い、長期的な視点で上水道財政が健全に運営されています。

実施方針

- 長期的な水需要の変動に合わせた施設規模の最適化
- 水道施設の計画的な維持管理および更新
- 包括業務委託などによる経営効率化の推進

施策2

下水道施設の整備と管理



これまでの取組

市民の快適な居住環境と河川などの公共用水域の水質保全のため、健全な財政運営に努めながら、下水道施設の計画的な維持管理とともに水洗化の普及促進を行ってきました。

めざす姿

長期的な視点で下水道財政の健全運営が行われ、計画的な下水道の新設および更新がされ、快適な居住環境と河川などの水質が保全されています。

実施方針

- 未整備地域への計画的な下水道整備
- 下水道施設の計画的な維持管理
- 広報活動の充実による水洗化の普及促進
- 包括業務委託などによる経営効率化の推進

第3章 人と産業が集い、公共交通でつながるまちづくり

～湖南省みらいものがたり Episode 3～

「お母さん、宿題の本を借りに図書館に行きたいから、車で連れてって!」

小学4年生の颯太(そうた)に頼まれ、母の綾乃(あやの)は玄関先に出た。そしていつものように、隣に住む一人暮らしの幸子おばあさんに声をかける。

「図書館まで行きますが、幸子さん、何か買ってきて欲しい物ありますか？」

颯太はもちろん、幸子さんも車を運転できないので移動は大変だ。

小さな日常の中にある、小さな優しさ——ご近所同士の助け合いも大切だが、湖南省は、優しさに頼るだけでなく、公共交通や都市計画、企業誘致といった政策を推し進めている。これは、行政だけでなく企業や住民も力を合わせ、地域の知見やネットワークをフル活用した取り組みだ。

やがて、「バスや電車をもっと利用しよう」とする企業の取組が市民全体へ広がり、誰でも好きな時に、好きなところへ移動できるまちづくりが形づくられていった。

活気あるまちをつくろう

—10年後

「この前、幸子さんもいろんなライドシェアで病院に行けるようになって、本当に助かったって言ってたわ」

「うん。駅行の便に乗る人も増えて電車の本数も増えたしね。それに国道1号も広くなって、通勤がスムーズになったよ」

颯太は高校を卒業し、地元企業でインターンを経験中だ。スマートIC周辺にはグローバル企業が進出し、駅の近くや県道4号沿いには、特色あるテナントやおしゃれなレストラン、ショップが並ぶ。

市民、企業、行政がいろんな困り事をシェアできる空気があって、お互いに補いあい、支えあう、「住みやすさってこういうことなんだろうな」と綾乃は実感している。

※この物語は、第三次湖南市総合計画ワークショップの“みんなでつくる将来のまちの姿”をモチーフに描いた物語です。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

第3章

1. 公共交通の見直し

施策1

地域公共交通の再構築



これまでの取組

市内のＪＲ草津線３駅について、順次、バリアフリー工事などを進めてきました。コミュニティバスの利用増進に向け、市民ニーズに基づいた取組を推進してきました。また、高齢者の移動支援事業に取り組む地域まちづくり協議会もあります。

めざす姿

地域の公共交通サービスのあるべきサービス水準などについて広く認識が共有化され、利用者が増加し、満足度が高まっています。

実施方針

- 事業運営計画の見直し
- 公共交通機関による利便性の向上

施策2

ＪＲ草津線複線化の促進



これまでの取組

県や沿線市町などと滋賀県草津線複線化促進期成同盟会を組織し、ＪＲ西日本に対してＪＲ草津線の複線化に関する要望活動、利用促進事業を行ってきました。

めざす姿

ＪＲ草津線沿線全体の魅力が向上し、利用客数が順調に増加しています。

実施方針

- ＪＲ草津線の利用客数増加に向けた一体的な取組の推進
- 関係団体などとの連携によるＪＲ西日本への継続的な要望活動の推進

施策3

地域の支えあいによる移動支援の推進



これまでの取組

「送迎支援・支えあい活動」を実施する地域まちづくり協議会への支援を行ってきました。同様の取組を実施し、高齢者の交通手段の確保を検討している地域まちづくり協議会もあります。

めざす姿

地域住民の支えあいによる身近な交通手段が確保され、湖南市全体の取組へと広がり、買い物や通院などさまざまな目的において市民の移動の支えになっています。

実施方針

- 地域主体による身近な交通手段確保の取組の支援
- 新たな交通手段の導入検討

2. バスの利便性向上

施策1 バスの利便性向上



これまでの取組

有識者や市民を交え地域の実情に即したサービスを実現するための協議・検討会を実施してきました。

めざす姿

J R草津線への接続が確保され、他の交通手段と分担しながら利用しやすいサービスが提供され、利用者が増加し、満足度が高まっています。

実施方針

- 企業連携や市民ニーズ、地域づくりの動向に基づくサービス改善によるコミュニティバスの利用促進

施策2 モビリティ・マネジメントの推進



これまでの取組

交通事業者と連携し、バスを使った乗降体験や利用マナーなどの交通環境学習を湖南市内の小学校で実施してきました。

めざす姿

バスの利用に親しむ人が増え、公共交通全体の利用者が増加しています。

実施方針

- 地域モビリティ・マネジメントの推進

第3章

3. 駅周辺のまちづくり

施策1

3 駅周辺のまちづくりの推進



これまでの取組

立地適正化計画に基づく届出制度により、居住機能や医療・福祉・商業、公共交通などのさまざまな都市機能の誘導を行ってきました。JR草津線3駅のバリアフリー化、石部駅自由通路の整備、三雲駅周辺のインフラ整備を推進してきました。

めざす姿

公共交通と併せて3駅周辺の利便性が高まるとともに、駅の周辺に憩いの場や都市機能の立地が進み、賑わいを感じられます。

実施方針

- 都市機能の集約化などコンパクトなまちづくりの推進
- 駅ロータリー周辺における環境整備の促進
- 地域特性に応じた駅周辺の賑わいの創出

4. 計画的な市街地・住環境整備

施策1

都市計画の推進と市街地の整備



これまでの取組

湖南省都市計画マスタープランに基づき、生活の利便性を向上させる土地利用を推進するとともに、人口減少社会を見据え、湖南省立地適正化計画に基づく都市機能の集約化を推進してきました。

めざす姿

人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりを基本としつつ、利便性が確保され、快適で魅力的なまちづくりが進められています。

実施方針

- 防災対応、ユニバーサルデザインに配慮した公共施設の整備充実
- 立地特性を生かした民間活力誘導の促進

施策2

良好な景観の形成



これまでの取組

景観法に基づく届出行為の審査や協議を通じて良好な景観の形成を推進してきました。景観重点地区では、ボランティアや住民との協働により良好な景観の形成に取り組んできました。広報こなんに景観に関する特集記事を掲載し、景観形成の意識の醸成を図ってきました。

めざす姿

自然や歴史を感じさせる優れた景観資源を生かした湖南省らしい良好な景観が市民・事業者・行政の協働により形成されており、地域の魅力が高まっています。

実施方針

- 景観づくりの情報提供など意識啓発の促進
- 重点地区を中心とした市民主体の景観づくり活動への支援
- 景観に配慮した公共施設の整備

第3章

4. 計画的な市街地・住環境整備

施策3

住環境の整備・地籍調査の実施



これまでの取組

地域の特性を踏まえつつ各種の都市計画制度や民間開発の誘導、地籍調査の推進などに取り組み、市民にとって住みやすい良好なまちづくりを推進してきました。

めざす姿

湖南省の発展に資する開発の適正な誘導、将来を見据えた都市計画制度の計画的な活用により、地域の特性に応じた住みよい良好なまちづくりが進められています。

実施方針

- 地区計画や都市計画提案制度などの地域の特性・意向を踏まえた創意ある市街地形成
- 生活環境などに配慮した住宅開発の推進
- 地域連携による地籍調査の推進
- 適切な開発誘導の推進

施策4

住宅環境の改善



これまでの取組

地震による建築物の倒壊などの被害から市民の生命・財産を守るため、木造住宅耐震診断の実施や制度の周知など住宅耐震化率の向上に取り組んできました。

めざす姿

住宅の耐震性が高まり、地震に対する安全性が高まっています。さまざまな事情で住宅の確保に困窮する市民への支援が整い、住宅セーフティネットが確保されています。

実施方針

- 住宅耐震診断・耐震改修の啓発・支援
- 住宅の健康被害に関する情報提供と相談体制の充実
- 高齢化社会に対応した公営住宅のユニバーサルデザイン化の推進
- 公営住宅の長寿命化・個別改善・建替え
- 市民の安全を脅かす構造物の撤去への支援

施策5 空き家対策の推進



これまでの取組

空き家サポートセンター「あきやナクス」を拠点として相談窓口の一元化、発生予防啓発や管理サポートなどの空き家の適正管理を推進してきました。

めざす姿

空き家の適正管理と利活用が進み、周辺の生活環境に悪影響を及ぼす可能性のある空き家は減少しています。

実施方針

- 空き家の適正管理および利活用の促進
- 管理不全空き家・特定空き家に対する法に基づく助言・指導など

施策6 火葬場の整備、霊園・墓地の適正管理



これまでの取組

火葬場の湖南省浄苑では適切な市民サービスを行うとともに、ペットなどについても個別火葬を行うサービスも展開してきました。

めざす姿

火葬場の受入設備の定期的な保守点検、計画的な更新・維持修繕が着実に進められており、火葬需要のニーズ変化にも対応ができています。

実施方針

- 火葬需要に対応したサービスの向上
- 火葬場の整備、霊園・墓地の適正管理

第3章

5. 企業立地の促進

施策1

魅力的な企業の誘致



これまでの取組

栗東湖南 I C や国道 1 号開通による広域交通の利便性の高さに企業の注目が集まっており、就職説明会を開催するなど人材育成・確保の支援を実施してきました。商工会と連携し、新規創業者の育成、伴走型での支援を実施してきました。

めざす姿

多様化する就労ニーズやDXに対応しながら、さまざまな魅力的な企業が経済活動を展開されています。

実施方針

- 企業誘致および創業支援制度の充実
- 用地確保などの産業立地の支援

施策2

産業の魅力化・シティセールス



これまでの取組

旧東海道沿いの酒蔵や正藍染・近江木綿、近江下田焼、近江一閑張などの工芸品があり、関係団体と連携して各種の展示・商談会や販売促進の機会を提供し、地場産業を含む情報発信などを支援してきました。

めざす姿

湖南市の風土に根付いた地場産業の魅力が広く伝わり、新たな魅力を兼ね備えた地域産品が開発され、地域では産地形成に向けた活動が展開されています。

実施方針

- 地場産業の情報発信支援
- 新たな特産品づくりと産地形成の支援

6. 企業、大学、行政による連携機会の創出

施策1

産学官連携の推進



これまでの取組

工業会が実施する産官交流会と連携し、企業と行政の共創について理解を深めてきました。商工会との連携による創業塾を開催し、受講者のフォローアップと新規創業者の育成、伴走型での支援を実施してきました。

めざす姿

企業、大学などの研究機関と連携し、産業の活性化や地域課題の解決に向けたまちづくり活動が展開されています。

実施方針

- 企業、大学などとの産学官連携および異業種連携の機会創出

第3章

7. 産官学金労言士によるまちづくりの推進

施策1

産官学金労言士の連携による地域活性化



これまでの取組

「健康状態の可視化の仕組み」、「運動」と「食」に強みを持つ企業、大学と連携協定を締結し、取組を行ってきました。

めざす姿

企業、大学などの研究機関に加え金融機関（資金調達）、ハローワーク（労働力確保）、メディア（広報・プロモーション）、士業（経営・法務）と連携し、それぞれの得意分野を生かした強力な体制が整備されています。

実施方針

- 産官学金労言士の連携体制の構築

施策2

社会実験・先導的モデルの実施



これまでの取組

公共交通に関する課題においては、デマンドタクシーの実証実験などを行ってきました。

めざす姿

企業、大学などとの連携により、公共交通などの地域課題を解決するための社会実験や先導的モデル事業が展開され、地域が活性化されています。

実施方針

- 地域課題の解決に向けた社会実験の実施

8. 道路網・河川の整備

施策1 幹線道路の整備と管理



これまでの取組

国道1号などの高規格道路の整備により、市内の交通が大きく変化しており、安全で快適な交通体系確立に向けて滋賀県道路整備アクションプログラムとの整合を図りながら市道路整備計画を推進してきました。

橋梁長寿命化修繕計画に基づく5年サイクルでの定期点検実施により、維持管理を推進してきました。

めざす姿

湖南省全体の体系的かつ将来を見据えた道路ネットワークの形成に向け、計画的に幹線道路の整備が進められています。橋りょうの定期点検と長寿命化修繕が計画的に進められ、ライフサイクルコストの縮減や安全性が確保されています。

実施方針

- 湖南省道路整備計画の着実な推進
- 高規格道路を生かした地域幹線道路の整備促進
- 交通渋滞、野洲川による地域分断の解消などに向けた道路整備を促進
- 橋りょうの安全性確保と長寿命化を目的とした維持管理

施策2 生活道路・水路の整備と管理



これまでの取組

生活道路では、幹線道路の慢性的な渋滞などにより通過車両が進入してくることから、渋滞緩和対策と併せて生活者主体の道路として安全性に優れた道路整備を推進してきました。

めざす姿

身近な生活道路の渋滞緩和対策と併せて安全性、利便性が確保されています。

実施方針

- 地域の実情に応じた市道の整備・改良
- 生活道路の安全性、利便性の確保
- 道路や交通結節点におけるユニバーサルデザイン化
- 地域住民との協働による維持管理